

# ジョージア政治・経済 主な出来事

【2016年6月27日～2016年7月3日】

[当地報道をもとに作成]

平成28年7月8日

在ジョージア大使館

## 1. 外 政

### ▼アバシゼ対露関係首相特別代表とカラーシン露外務次官との会談(27日)

・アバシゼ対露関係首相特別代表がプラハでカラーシン露外務次官と会談。会談後、露外務省は、「二国間関係の段階的な正常化に向けて実務的な方針を継続する用意を改めて確認した」「同時にロシア側はジョージア政府高官による非友好的なレトリックが客観的・互恵的なプロセスに反することを指摘した」との報道声明を発表した。

・会談後、「ア」特別代表は、フルチャ村で起こった射殺事件の問題を提起したとして、アブハジアの「軍事裁判所」が決定した自宅軟禁は全く「不適切な措置」であり、容疑者は速やかに刑務所に入れられるべきだと述べた。ジョージア首相府の報道声明によれば、「カ」露外務次官は、容疑者の逮捕・訴追に「一般論として」賛成したが、「ロシア側は無関係である」と述べた。会談後、「ア」特別代表は公共放送局に対し、「ロシアは全ての責任をアブハジア側に押し付けることはできない」と述べた。

・ジョージア政府の報道声明によれば、スパイ活動の容疑でロシアで禁固刑を受けているジョージア国民の釈放およびロシアのWTO加盟をめぐる税関の管理に関して2011年に両国の間で合意した作業についても議論された。

### ▼首相のスイス訪問(27日)

・クヴィリカシヴィリ首相がスイスを訪問し、シュナイダー＝アマン・スイス大統領と会談。ジョージア・EFTA間の自由貿易協定への署名、農業・観光・教育分野での二国間協力、山岳地域の開発に関するスイスの経験の共有などについて議論した。

### ▼外相のポーランド訪問(27日-28日)

・ジャネリゼ外相がポーランドを訪問し、ポーランドのヴァシチコフスキ外相、カルチェフスキ上院議長らと会談。ポーランド国際安全保障研究所で講演。「ヴァ」ポーランド外相とともに、ジョージアの欧州との統合を支援するべくポーランドのイニシアチヴによって設立された両国の協力の新しい枠組「トビリシ会議」の開始を発表。

・「ヴァ」ポーランド外相との会談では、英国の住民投票の結果を受け、EUおよび欧州の情勢について意見を交換した。ジョージアのEU・NATO加盟、地域情勢、国防・被占領地域の安全保障などの分野における二国間協力などについて議論。

### ▼大統領の訪独(30日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領がドイツを訪問し、ドイツのガウク独大統領、ランメルト連邦議会議長、メルケル独首相らと会談。アデナウアー基金で講演した。

・「メ」独首相との会談では、二国間関係、ジョージアのEU・NATO加盟の見通し、被占領地域の状況、地域の安全保障環境、ジョージア国内の民主改革および今年の国会選挙などについて議論。

### ▼シュタインマイヤー独外相のジョージア訪問(30日-7月1日)

・アルメニア、アゼルバイジャン訪問の後、シュタインマイヤー独外相がジョージアを訪問。マルグヴェラシヴィリ大統領、クヴィリカシヴィリ首相、ジャネリゼ外相らと会談し、OSCE議員会議開会式に出席。

・「ク」首相との会談では二国間関係、ジョージア国内の民主改革、EU・NATO加盟の展望、ワルシャワでのNATO首脳会議、地域情勢、ジョージアの被占領地域の状況などについて議論。査証自由化行動計画に関するドイツの支援の重要性が強調された。「ク」首相は2016年10月の国会選挙を公正かつ自由な開かれた環境で実施することを約束した。

・「ジャ」外相との会談では、地域の安全保障環境、特に地域の紛争の解決のプロセスにおけるOSCEおよびドイツの役割について議論された。ジョージアの被占領地域の現状が検討され、「ジャ」外相は国際社会の関与による紛争の平和的な解決の重要性を改めて強調した。

・「シュ」独外相は、ジョージアに対するEUの査証自由化のプロセスの迅速な完了に対するドイツの支持を改めて確認した。

### ▼ジョージア・EU連合協定の発効(7月1日)

・2014年6月27日に署名され、2014年9月1日に暫定的に発効したジョージア・EU連合協定が7月1日に発効。外務省は、「2年弱の間に欧州議会、EU 28カ国およびジョージア国会が批准を行なった。連合協定の批准がこれほど短期間に完了したことは、欧州との統合を目指すジョージアの方針に対するEU諸国の堅固な支持を示している」との声明を発表。

### ▼南オセチアを通る道路の利用の検討(7月1日)

・6月23日以降、ダリアリ峡谷を通過してロシアに至る道路が不通となっていることについて、7月1日、ジャヴァヒシヴィリ地方発展インフラ相は、道路の復旧には10日から2週間が必要と述べた。

・30日、アルメニアのメディアは、ダリアリ峡谷の道路の再開までの一時的措置として、南オセチアを経由する道路の利用について協議を行なっているとのアルメニア運輸通信相の発言を報道。

・翌7月1日、クヴィリカシヴィリ首相は協議が行なわれたことを認めたが、ロシアとの間で合意に至らなかった。

たと述べた。2011年に、ロシアのWTO加盟をめぐる、ジョージア・ロシア間で税関の管理に関して合意された内容をロシアがまだ履行していないことにも言及。

#### ▼国防相のイタリア訪問(7月1日-2日)

・ヒダシェリ国防相がイタリアを訪問。イタリアのピノティ国防相、ヴェドヴァ外務次官らと会談。NATO 国防大学を訪問。

・「ピ」伊国防相との会談では、国防分野での二国間協力、ワルシャワでの NATO 首脳会議、NATO・ジョージア実質的パッケージの実施へのイタリアの関与などについて議論した。

#### ▼OSCE議員会議(7月1日-7月5日)

・第25回 OSCE 議員会議がトビリシにて開催された。

57か国から320名以上の議員が参加。

・開会式で挨拶したクヴィリカシヴィリ首相およびウスパシヴィリ国会議長は、OSCE の意思決定メカニズムには欠陥があり、現在の深刻な安全保障の脅威に対応するために OSCE はより効率的にならねばならないと述べた。また、「ク」首相は2009年に中断された OSCE ミッションの再開の必要性を主張。

## 2. 内政

#### ▼国防省による徴兵の廃止(27日)

・ヒダシェリ国防相が国防省による徴兵の廃止を発表。徴兵は国防省のほか内務省、国家保安庁などその他の機関によっても行なわれているため、国内の徴兵制が廃止されるわけではない。「ヒ」国防相は、「徴兵制を完全に廃止するために立法を通じて努力したが成功しなかった」と述べた。

・マルグヴェラシヴィリ大統領、クヴィリカシヴィリ首相、セシアシヴィリ国会国防・安全保障委員会委員長らは、決定は政府および国家安全保障会議に諮られねばならなかったとして「ヒ」国防相の決定を批判。

#### ▼大統領が最高裁判所裁判官候補者2名を再指名(27日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領は、国会が6月10日に否決した最高裁判所裁判官候補者2名、ラリアシヴィリ元最高裁判所裁判官および法学者トドゥア氏を国会に対して再指名した。国会が再び否決すれば、大統領は新たな候補者を指名せねばならない。

・同じく国会が否決したドリゼ国防次官について、大統領は政務官としての起用を発表。

#### ▼世論調査の結果(28日)

・独・米の市場調査機関 GfK が6月に実施した世論調査の結果を発表。10月の国会選挙での投票先について、ジョージアの夢・民主ジョージア党 22.4%、統一国民運動 21.7%、「国民のための国家」党 7.8%、自由民主主義者党 6.2%、民主運動・統一ジョージア党 1.6%、共和党 0.6%。回答者の 3.9%はいかなる党にも投票しない、19.4%はま

だ投票先を決めていないと答えた。回答拒否 10.0%。

・来週に大統領選挙が行なわれたとしたらとの質問に対し、マルグヴェラシヴィリ大統領 12.6%、バクラゼ統一国民運動院内総務 9.9%、サーカシヴィリ前大統領 7.1%、ブルチュラゼ「国民のための国家」党党首 5.4%、アラサニア自由民主主義者党党首 5.0%、ナテラシヴィリ労働党党首 3.1%、クヴィリカシヴィリ首相 2.6%、イヴァニシヴィリ元首相 2%、ブルジャナゼ民主運動・統一ジョージア党党首 2%。

#### ▼民主運動・統一ジョージア党の主張(30日)

・ブルジャナゼ民主運動・統一ジョージア党党首は、NATO あるいはその他の「いかなる軍事同盟にも所属しない」ことを憲法で規定することを選挙運動で訴えていくと発言。「ジョージア領土にはいかなる他国、同盟の軍も存在するべきではない」と述べた。

#### ▼米国務省の人身売買報告書(30日)

・最新の米国務省人身売買報告書は、ジョージアを「問題に対応する努力を行なっており、人身売買の排除のための最低限の基準を満たす」第1グループに分類。ジョージアは2011年まで6年間連続で第1グループを維持してきたが、2012年から2015年までは、「改善に向け努力しているが、最低限の基準を満たしていない」第2グループに含められていた。

・報告書は、ジョージア政府が警官、検察官、裁判官らの訓練の実施を通じて人身売買への対応能力を向上させたと述べる一方で、ジョージアが、性的搾取の対象となる女性および強制労働の対象となる男性・女性・未成年者の出身地、経由地、目的地となっていると指摘。

## 3. 経済

#### ▼ジョージア・EFTA自由貿易協定への署名(27日)

・クヴィリカシヴィリ首相とクムシシヴィリ経済・持続的発展相のスイス訪問中、ベルンにてジョージア・EFTA間の自由貿易協定への署名が行なわれた。署名式に出席したシュナイダー＝アマン・スイス大統領は、自由貿易協定をめぐる協議が2015年9月から約半年で終了したとして、「プロセスの迅速さと質の高さは、我々の国々間の肯定的な関係と優れた協力を物語るものである。自由貿易協定によりジョージア・EFTA 諸国間の貿易・投資の発展が大きく促進されるよう期待している」と述べた。

#### ▼2016年5月の経済成長(30日)

・2016年5月の実質 GDP 成長率は前年同月比 2.1%。2016年1月～5月の実質 GDP 成長率の平均は前年同期比 2.9%。

#### ▼対外債務(30日)

・国立銀行の資料によれば、6月末の時点でのジョージアの対外債務は146億ドル。上半期で約4億3000万ドル減少。公的債務は62億ドル(対 GDP 比 45.5%)で、うち政府債務 45億ドル。